

# 副専攻「放射線総合科学」

募集

弘前大学 学部横断型副専攻プログラム

## 副専攻「放射線総合科学」

被ばく医療連携推進機構 / 被ばく医療総合研究所

地域防災、エネルギー、放射線防護に関する知識を身に付け、  
地域貢献やキャリア形成を目指してみませんか!!

防災士

+

弘前大学災害対応マネージャー

+

副専攻

### 本副専攻プログラムの目的

今後起こりうる複合災害について、過去の事例から災害予防、災害応急対策、災害復旧に加え、放射線及び関連する分野を複合的に学ぶことで、青森県を代表とする原子力関連施設を擁する地域の課題に積極的に取り組む人材を育成します。

被ばく医療総合研究所が福島県における復興支援活動を通じて培った教育・研究成果を活かし、放射線が環境や人体に及ぼす影響を正しく理解するだけでなく、喫緊のエネルギー問題についても考察します。この学修により、青森県や同様に原子力関連施設を有する地域の課題を正しく理解し、地域のリーダーとして指導・実践する力を養います。

### 副専攻「放射線総合科学」の特徴

#### 1 資格等も取得できる段階的なカリキュラム構成

- Level 1 日本防災士機構が認定する「**防災士**」の受験資格が得られる  
(カリキュラム実施中に救急救命講習の修了証も得られる)
- Level 2 単位修得時に弘前大学独自称号「**弘前大学災害対応マネージャー**」が付与される
- Level 3 第3種放射線取扱主任者相当や放射線に係る総合的な知識の修得
- Level 4 卒業時に**副専攻：放射線総合科学の修了証**が授与される

#### 2 学内外の専門家による授業

##### 協力学部・大学院

- 医学部
- 理工学研究科
- 地域共創科学研究科
- 災害・被ばく医療教育センター

##### 海外協力大学

- コロラド州立大学 (アメリカ)
- チュラロンコン大学 (タイ)

##### 学外協力機関

- 青森県
- 公益財団法人環境科学技術研究所
- 日本原燃株式会社
- 東北電力株式会社
- J-POWER 電源開発株式会社
- 原子力規制委員会原子力規制庁\*  
\*原子力規制委員会原子力規制庁「原子力規制人材育成事業」に採択

#### 3 専門機関へのインターンシップと成果報告会への参加

学外協力機関(青森県、原子力関連施設、原子力規制庁)へのインターンシップに参加し、貴重な体験が得られます。最終科目では、学外の専門協力機関の前で成果報告会を行い自身の学習成果を確認できます。また、海外の協力機関(アメリカ、タイ)において、インターンシップを行うことができます。(旅費の一部を支援します。)

◆被ばく医療総合研究所では、これまで福島の復興支援活動を通じて培った教育・研究成果を活かし、放射線が環境や人体に及ぼす影響を正しく理解するだけでなく、喫緊のエネルギー問題の解決方法についても考察します。

★これにより、青森県や同様に原子力関連施設を有する地域の課題を正しく理解し、**地域のリーダーとして指導・実践する力を養います。**



✓各学部に**チラシ**を配布しています。

✓詳細は、「**弘前大学教育情報HP** SOON **教育プログラム**」  
や「**被ばく医療総合研究所HP**」をご覧ください。

【問合せ先】被ばく医療総合研究所事務室

☎0172-39-5401 ✉jm5401@hirosaki-u.ac.jp